



親の「先回り」をグッとガマンして、失敗を宝物に！

現代の子どもたちは、気持ちのやさしい子が多い反面、傷つきやすく脆いところもたくさん見かけます。ただ、予測不可能な時代を生き抜いていくためには強さも必要です。そういう意味では、最近の子どもにはたくましさがないようにも感じます。

ここで言うたくましさとは、自分の頭で考える力、時と場に応じて臨機応変に動ける力。つまり判断する力のことです。これは、誰にとっても欠かせない力と考えます。

これまでを振り返ると、困難という壁の高さを考えずに、子どもが困っていると親が「先回り」をして困難を闇雲に排除しようとしてしまう場面に出会ったことはないでしょうか。親が「先回り」してあれこれと世話を焼きすぎると子どもは失敗することができません。成功する達成感や満足感も大事ですが、失敗を通して子どもは学び、自ら判断するための抽斗(ひきだし)を増やして成長していきます。ですから、すべてをお膳立てしていたら何にもなりません。お膳立てが必要な場合もありますが、そのタイミングやさじ加減が大事なのだと思います。

判断を誤ったことのない人や失敗をしたことのない人は、一人もいません。辛い思いもすれば嫌な目にもあうのが失敗とも言えます。この経験を積み重ねることで、強さが身についていくわけです。親の「過保護」や「先回り」は、子どもの力を奪ってしまいかねません。失敗の少ない子は成長する機会を逃すことになると言えないでしょうか。

ひいては、言われたことだけをやる、または言われなければ何もやらない、というような指示待ちで無気力、あるいはわがままな子どもになってしまうことも危惧されます。当然、自立心も芽生えません。また、ちょっとしたことで傷ついたり、何でも人のせいにしたりする精神的な弱さが随所に露見することにもなりかねません。だからこそ、失敗という財産を子どもから奪うことがないようにしていきたいと願います。

ですから、子どもより先に立って歩くのではなく、子どもの失敗も成功も後ろから見守ることも大事です。手を出したいのをグッと我慢することはとても難しいことですが…。

ただし、子どものその時点での力では越えきれない壁の高さであると判断される場合は、助け舟を出したり学級担任や指導者などに相談したりして、連携して対応することが求められます。

子どもが自分の足でしっかり歩いていけるようにするのが親の役目です。その成長には個人差がありますが、小さいうちに、小さな失敗をたくさん経験させてあげることも大事だと考えています。そのためには、親にも「判断力」が備わっていることが不可欠ですね。

<参考：woman excite>

- 現在産休中の土井幸子教諭に、7月5日(金)男児(3250g)が誕生しました。
- 先週実施した5年生の自然教室(南房総方面)の様子をブログにアップしてあります。ご覧ください。
- これから始まる受水槽工事に係り、「原木門が使用できなくなる」という誤った情報や受け取り方があるようです。立ち入れない区域や工事車両の出入り・駐車はありますが、門の使用はできます。

『ふれあいカレンダー』頒布についてご協力のお願い

現在、千葉県内では、小・中・特別支援学校で、特別な支援を必要とする子どもたちが、それぞれのニーズに応じた教育を受けています。これは、本校のなのはな学級も例外ではありません。また、通常学級においても、何らかの困難を抱え、支援や理解を求めている子どもも少なくありません。こうした子どもたちの教育の充実・発展を願い、「共に喜び、共に歩もう、明日をめざして」のスローガンのもとに、望ましい学校・地域社会づくりに努めているのが、千葉県特別支援教育連盟であり千葉県特別支援学級設置校校長会です。

この活動の一環として、県内の特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室で学ぶ子どもたちの感性豊かな絵画作品を掲載した、壁掛けタイプと卓上タイプ2種類の「ふれあいカレンダー」を作成し、これを通して、特別支援教育への理解と共感の輪を広げたいと考えています。

これを受け、市川市特別支援教育連盟でもふれあいカレンダーの頒布を行い、収益金の一部を市内合同行事の補助金等、特別支援教育の理解・推進活動に有効活用させていただいております。

願いは、以下の6つです。

- (1) 障害のある子どもたちの早期発見と早期教育のできる体制の充実
- (2) 小・中学校の特別支援学級・通級指導教室と特別支援学校の充実
- (3) 小・中学校における校内支援体制の充実
- (4) 障害のある人たちの働く職場の拡大
- (5) 障害のある人たちのための福祉施設の設置・充実
- (6) 障害のある人たちへの理解を深めるための活動の推進

保護者の皆様方には、上述の点やカレンダー頒布事業の主旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。ご賛同いただける場合は、希望の部数をキリトリセン以下の「申込書」にご記入の上、代金を添えて学級担任までお申し込みください。

1 頒布価格 一部500円（壁掛け版・卓上版ともに）

2 申込期限 令和元年7月19日（金） ※最終締め切りは9月4日（水）とします

----- キリトリセン -----

『ふれあいカレンダー』申込書

学年・組・氏名 _____ 年 _____ 組 児童氏名（ _____ ）

希望数・代金	壁掛け版 _____部	合 計 _____部	金 額
	卓上版 _____部		_____円